



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和3年2月9日
東久留米市立南中学校
校長 小川 高弘

令和2年度学校評価より

校長 小川 高弘

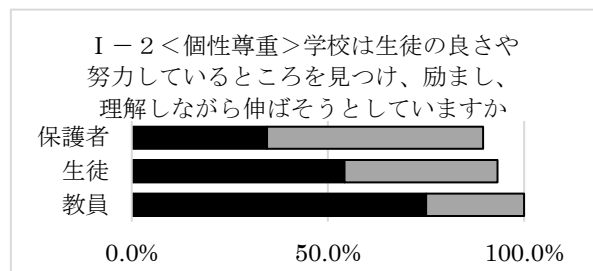
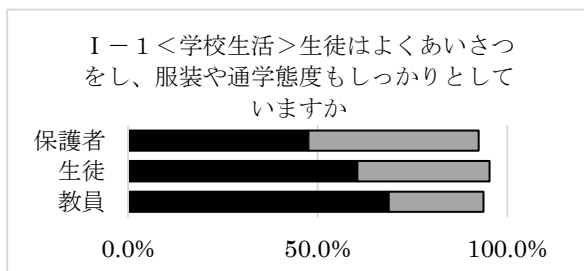
緊急事態宣言が3月7日まで延長されました。この状況で学校の感染症対策を緩めることは考えられませんので、これまでの対策を継続していきます。日常の授業だけでなく、3学期に延期していた校外学習や合唱会、年度の締めくくりの卒業式や修了式がどうなるのか心配されていることと思います。どのような形式でなら実施できるのか、検討していきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、2学期末には学校評価アンケートへのご回答、ありがとうございました。今回の回収率は79.5%で、昨年度よりも10ポイント以上高い回収率です。アンケートに「補助資料」を添付しましたが、感染症対策のため、学校の様子を見ていただく機会が極端に少なく、「『わからない』という選択肢が欲しかった」というご意見が多数ありました。

昨年度に引き続き、生徒・保護者・教員に同じ項目でアンケートを実施し、三者の回答を比較しました。それぞれの立場で感じること、見えることに違いが表れています。全体の肯定的評価が低いものについては改善策を、生徒・教員に比べ保護者の肯定的評価が低いものにつきましては改善策と周知方法を、次年度の教育活動に向けて検討していきます。保護者の「自由記述」についての回答もあわせて記載しました。全てのご意見・ご要望にはお答えできていませんが、次年度以降の教育活動に生かしていきます。

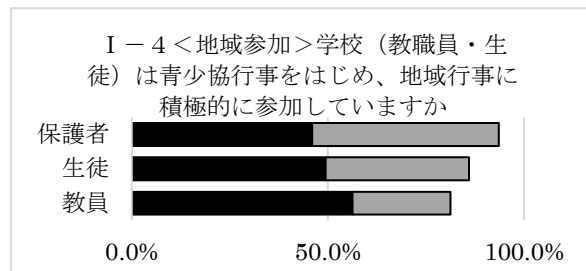
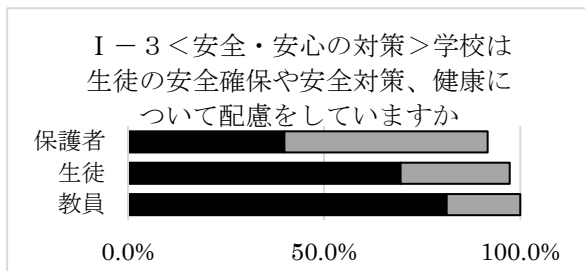
アンケートを集計しましたグラフは、紙面の都合上、「そう思う」「ややそう思う」の肯定的評価のみを示しました。黒い棒グラフが「そう思う」灰色の棒グラフが「ややそう思う」を表しています。2本を足したものが肯定的評価であり、100%に足りない部分が否定的評価と未記入となっていますので、グラフが右に長いほど肯定的評価が多いことになります。

■ そう思う ■ ややそう思う



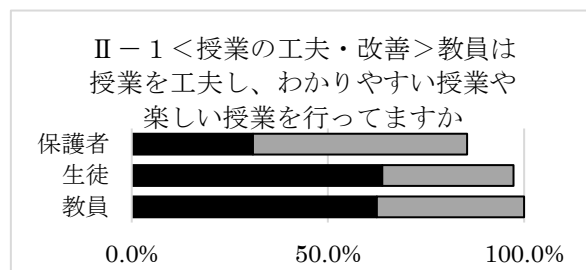
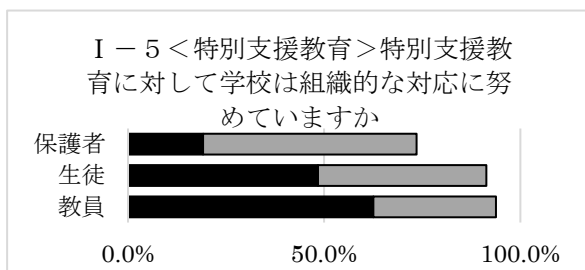
<学校生活> 南中の生徒は服装の乱れもなく、落ち着いて学校生活を送っています。今年はいいさつ運動が1回しか実施できませんでしたが、気持ちの良いあいさつを目指します。

<個性尊重> 校内だけでなく、校外の優秀な活動も全校朝礼で紹介し、表彰しています。保護者にも伝わる活動を目指します。



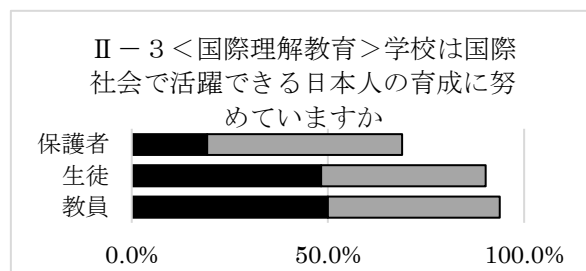
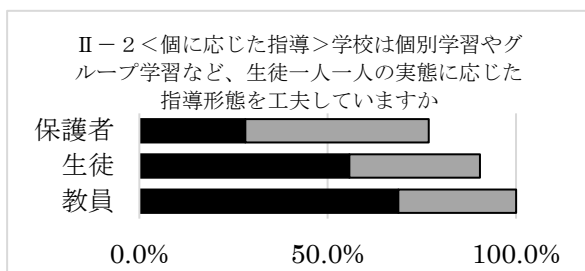
<安全・安心の対策> 今年の避難訓練は、密集を避けるため、校庭への避難も分散して行いました。感染症対策のため、来校者の検温や手指消毒液を随時増設しています。生徒・保護者からは高い評価を得ています。

<地域参加> 青少協の活動は多くが中止となり、地域活動への参加の機会が減りましたが、いもほりボランティアには大勢参加しました。また、初めて行った演劇部の五小1年生への出前公演は好評でした。



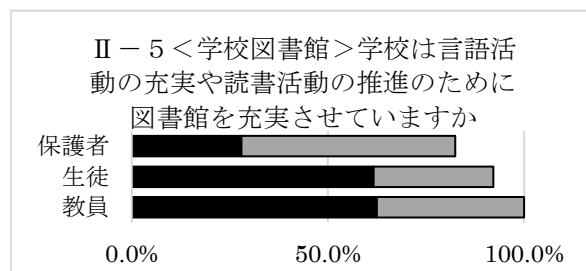
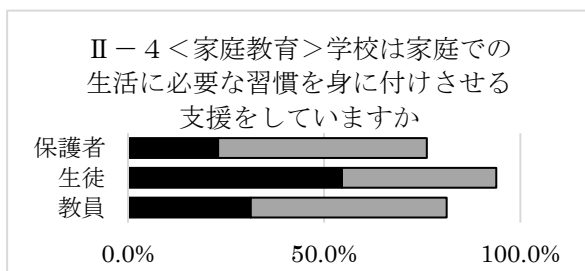
<特別支援教育> 特別な支援を必要としている生徒に対して、担任だけでなくどの教員も支援できるように共通理解に努めています。多くの保護者にご理解いただけるように取り組んでいきます。

<授業の工夫・改善> 生徒・保護者ともに「そう思う」評価が上がりました。ICTを活用した授業が増え、授業プリントにも工夫が見られます。来年度は一人一台のタブレットを使用します。



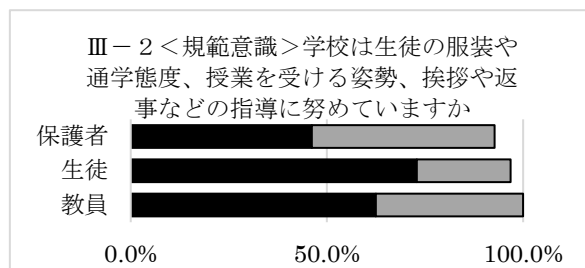
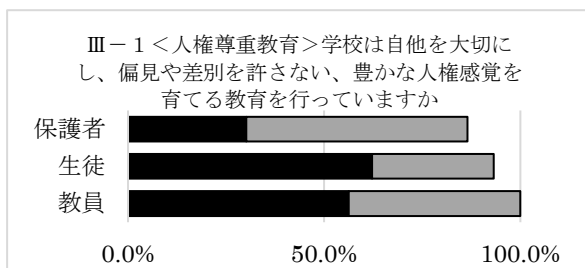
<個に応じた指導> 数学の習熟度別少人数指導や密にならない話し合い活動を取り入れています。今年度は定期考査前以外にも放課後学習教室を設置しました。

<国際理解教育> ノースカロライナ州からの視察団との直接交流はできませんでしたが、手紙やビデオ等を活用した間接交流を行いました。英語への興味関心も高まり、3年生の5割以上が英語検定3級以上に合格しています。



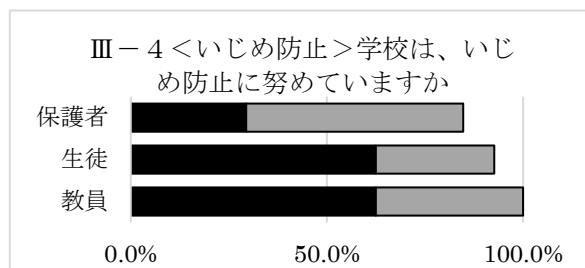
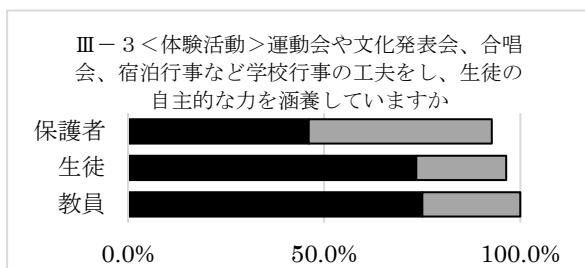
<家庭教育> 保護者・教員からの評価が高くありません。家庭との連携をもっと深めていく必要があります。

<学校図書館> 学校図書館の活用は、保護者からは見えにくい取組です。毎朝の読書活動や読書週間などを実施し、本に親しむ環境をさらに整備していきます。



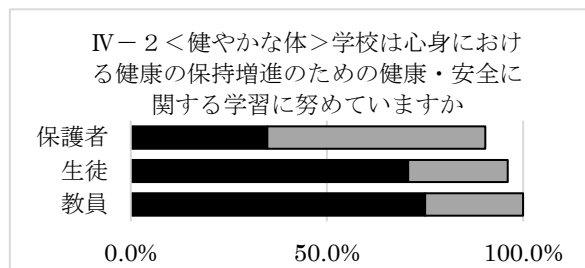
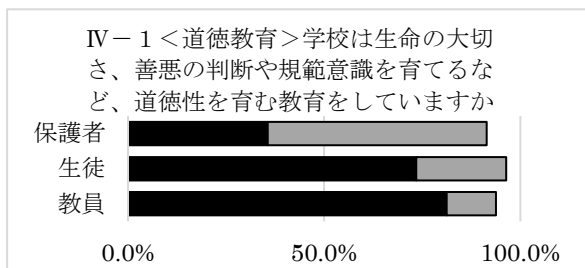
<人権尊重教育> 朝礼や学活を活用して、今年度は特に差別や偏見のない学校を目指しました。「そう思う」の黒いグラフが100%になることを目指します。

<規範意識> 三者の評価の平均が一番高い項目です。生徒の規範意識の向上は、学校だけの力ではなく、これまでの家庭の教育力のおかげです。



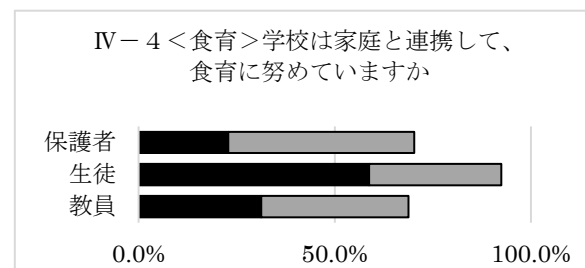
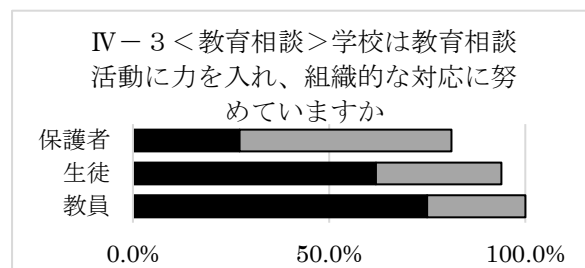
<体験活動> 今年度は多くの行事が中止となりましたが、10月のスポーツデイ、1月の学習発表会では、生徒は、今できることに熱心に取り組みました。

<いじめ防止> 毎学期、アンケートを実施しています。生徒の日常の悩みや不安の早期解決を目指しています。生徒同士のトラブルは「0」ではありませんが、悩みの解決に向けて、担任だけで抱え込まずに組織的に対応しています。



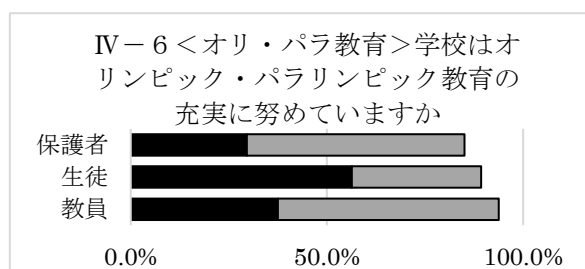
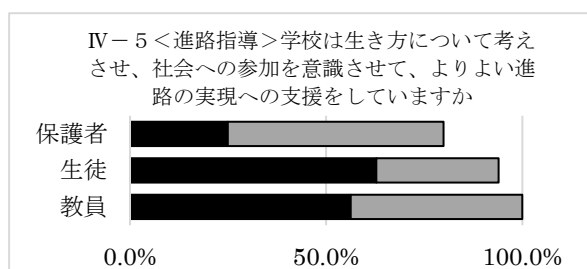
<道徳教育> 「特別の教科 道徳」の実践が2年目となり、三者とも「そう思う」評価が上がっています。教員の道徳教育への意識が向上しています。

<健やかな体> 保健体育の授業や運動部活動など、運動に関して十分に取り組めない1年間でした。コーディネーション・トレーニングの指定校を受け、1年生が取り組みました。



<教育相談> 生活アンケート後に、担任以外の教員やスクールカウンセラーとの面談も設定し、希望者に対応しました。生徒との信頼関係の構築に続けて取り組んでいきます。

<食育> 市教育委員会からの給食だよりを活用し、食育に取り組んでいますが、スクールランチの残菜、特に牛乳の残り本数が多いことが気になります。



<進路指導> 職業人の講話や職場体験が中止となり、調べ学習が中心となりました。補う活動を検討しています。

<オリ・パラ教育> 1年生は、リモートでパラリンピアンとの交流を行いました。オリンピック・パラリンピック延期のため、直接的な学習はできませんでした。オリ・パラ教育を通じて、国際理解やボランティアマインドの育成に引き続き取り組みます。

《保護者 自由記述より》

- 生徒に挨拶や返事の指導をしているにもかかわらず、教員自身がされていないような気がします。
- 生徒に指導していることを教員が実践することは当然です。生徒だけでなく、学校全体で挨拶の活性化に取り組んでいきます。
- リュックがとても重く、体が痛いようです。
- 家庭学習に必要な「必ず持って帰る物」を見直しています。ロッカーの容量が小さく、置いていく量にも限界があります。
- 食べる時間がなかったと弁当を残してきますが、その状態で部活動後に下校するのは健やかな成長を妨げていると思います。
- 昼食後の休憩時間、放課後の活動時間の確保のために、現在の時程を設定しています。
- 学習に遅れている生徒やテスト結果の悪い生徒に対して、個別の基礎課題などの対策をお願いします。
- 放課後学習教室を設定していますが、部活動との時間の重なりが課題です。
- アンケートに氏名まで書くと意見を書きにくいと思います。
- アンケートの信頼性を高めるためにも、記名をお願いします。
- 教員が生徒のことをあだ名や「お前」と呼ぶことがあるそうです。生徒にも人格、人権があります。
- このような呼び方を親愛の表れという人もいますが、一人一人の人格を尊重することから、あだ名や呼び捨てにせず、敬称を付けて呼ぶことを校内で実践します。

南中生の活躍

水道週間作品コンクール 作文部門

- 特選 佐々木 朋美 (2年1組)・石関 一葉 (2年2組)・北 悠里 (2年2組)
佐伯 茉音 (2年3組)・佐藤 綾美 (2年3組)
- 入選 木山 椋策 (2年1組)・松原 敬尋 (2年1組)・村上 颯斗 (2年1組)
笹川 怜愛 (2年4組)・中原 鈴海 (2年4組)